2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経病態生理学Ⅰ特論Ⅰ・Ⅲ	菱川 朋人

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）， 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）神経疾患の生理・病態を理解する。
（2）神経疾患の病理の基本を理解する。
（3）神経病態生理に関する最新のトピックスを理解し，研究に活かせる。

授業到達目標

（1）神経疾患の生理・病態を理解し，英語論文が読める。
（2）神経疾患の病理の基本を理解し，学会発表できる。
（3）神経病態生理に関する最新のトピックスを理解し，討論できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月～金	8:00-8:30	菱川 朋人	講義	[症例検討会]	脳卒中カンファレンスに参加し，症例ごとの病態について議論できる。 [場所:北館 3 階カンファレンス室]
2	毎週	火	13:00-15:00	菱川 朋人	講義	[症例検討会]	カンファレンスで神経病態について報告でき，討論ができる。 [場所:11 階西カンファレンスルーム]
3	毎週	木	13:30-15:30	菱川 朋人	講義	[症例検討会]	カンファレンスで神経病態について報告でき，討論ができる [場所:11 階西カンファレンスルーム]
4	毎週	木	13:00-13:30	井上 智	講義	[抄読会]	英語論文抄読会で論文抄読し，議論できる。 [場所:11 階西カンファレンスルーム]
5	毎週	木	16:00-17:00	平井 聡	講義	[研究検討会]	基本的統計学を理解し，討論できる。 [場所:11 階西カンファレンスルーム]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784765316675, 脳神経外科学, 太田富雄総編集 ; 川原信隆 [ほか] 編集, 金芳堂, 2016

参考書

ISBN-9784877942106, 脳卒中治療ガイドライン, 篠原幸人 [ほか] 編集, [脳卒中合同ガイドライン委員会], 2003
ISBN-9784758315654, I から XII まで : 脳神経からみた脳神経外科手術, 伊達勲担当編集委員, メジカルビュー社, 2016

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する文献および論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）事前に教科書や参考書で約１～２時間程度，該当箇所を予習しておく。
（3）紹介された論文の要約を作成する。
予習 30 分、復習 1 時間行うことが望ましい。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。